

令和5年度

八尾市立障害者総合福祉センター
及び八尾市立デイサービスセンター

指定管理者事業報告等

- 指定管理者事業報告
- 指定管理者モニタリングレポート

健康福祉部 障害福祉課

令和5年度八尾市立障害者総合福祉センター及び八尾市立デイサービスセンター
指定管理者事業報告

1. 施設名称・所在地

八尾市立障害者総合福祉センター、八尾市立デイサービスセンター
八尾市南本町八丁目4番5号

2. 指定管理者名

社会福祉法人虹のかけはし
代表者 理事長 辻田 純三

3. 各サービスの契約者数及び延べ利用者数

(1)生活介護(契約者数 154人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	388	424	404	410	402	387	398	377	359	335	360	368	4,612

(2)ショートステイ(契約者数 障がい者215人、障がい児193人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者 延べ利用者数	158	170	169	176	188	161	171	169	153	151	114	134	1,914
障がい児 延べ利用者数	23	14	10	20	17	19	18	18	22	18	14	14	207

(3)児童発達支援(契約者数 63人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	57	46	52	59	56	48	60	60	54	55	66	67	680

(4)放課後等デイサービス(契約者数 12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	60	63	69	59	56	53	63	56	53	47	46	45	670

(5)地域密着型通所介護(契約者数 48人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	153	169	153	160	160	165	164	174	159	158	159	173	1,947

※第1号通所事業については7名の契約者がいるが、利用実績なし。

(6)地域活動支援センターⅡ型(契約者数 140人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	113	101	99	122	102	111	107	102	102	104	90	116	1,269

(7)日中一時支援(契約者数 障がい者173人、障がい児208人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者 延べ利用者数	53	55	46	48	56	58	62	54	53	53	57	62	657
障がい児 延べ利用者数	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

4. 交流(啓発)・情報発信事業及び講座等

交流(啓発)・情報発信事業	回数	参加者数
映画の上映会	12 回	257 人
愛に輝く野遊会	1 回	26 人
きずなサマーフェスティバル	1 回	255 人
愛に輝くうんどう会	1 回	100 人
ポッチャきずなリーグ大会	3 回	270 人
ポッチャオープン大会	1 回	350 人
愛に輝くつどい	1 回	200 人
八尾ディスコン大会	1 回	30 人
点字図書・DVD等の貸出等	2 回	— 人
障がい当事者によるサロン活動	17 回	131 人
同好会・サークル	469 回	5,680 人
その他利用状況	1 回	22 人
広報誌等の発行	55 回	— 人
ホームページ	54 回	12,444 人
見学状況	13 回	15 人

地域連携事業	回数	参加者数
障がい者スポーツのつどい	1 回	200 人
渋川祭り	1 回	— 人
ふれあい祭	1 回	34 人
高美南小学校障がい者理解教育	4 回	138 人
市内小学校出前授業	2 回	88 人
ひゅーまんフェスタ	1 回	— 人
障がい者フォーラム	1 回	— 人
地域防災訓練	1 回	7 人
市民への出前授業・体験受入	1 回	60 人

貸館事業	1,660 回	13,971 人
------	---------	----------

講座	開催回数	延べ受講者数
料理教室	10 回	42 人
アレンジフラワー教室	10 回	50 人
華道教室	10 回	53 人
茶道教室	7 回	37 人
手話ボランティア養成講座	50 回	355 人
書道教室	20 回	124 人
自由に創造する(アールブリュット)	10 回	28 人
生活体験教室	7 回	13 人
健康づくり体操教室	10 回	60 人
絵画教室	10 回	50 人
太極拳教室	10 回	28 人
ヒップホップダンス教室	26 回	366 人
パラスポーツ体験講座「ふうせんバレー」	1 回	4 人
パラスポーツボランティア講座「ふうせんバレー」	1 回	3 人
パラスポーツ体験講座「ディスコン」	1 回	9 人
パラスポーツボランティア講座「ディスコン」	1 回	10 人
車いすダンス	10 回	74 人
陶芸体験教室	22 回	146 人
パソコン	46 回	93 人

その他	回数等	参加者数
送迎バス(近鉄八尾方面)	— 回	5,001 人
送迎バス(巡回・予約制バス)	— 回	807 人
寄附金品等	6 件	— 人
実習・研修の受け入れ	3 件	4 人
職員研修	19 回	192 人

5. 職員研修

研修名	日程	場所	参加者数
ハラスメント研修	令和5年4月7日	八尾市立障害者総合福祉センター	37名
ハラスメント研修 伝達講習	令和5年4月8日～30日	八尾市立障害者総合福祉センター	51名
じんけん学習塾(ネット社会の部落問題学習を考える)	令和5年5月17日	八尾市立障害者総合福祉センター (Zoomにて)	1名
100年前の「九月、東京の路上で」起きたことからヘイトクライムを考える	令和5年6月26日	八尾市商工会議所	2名
じんけん学習塾(性教育～幸せになるための教育)	令和5年6月28日	八尾市立障害者総合福祉センター (Zoomにて)	1名
安中地区新転任職員研修(まちづくりの現状を学ぶ)	令和5年6月29日	安中人権コミュニティーセンター	1名
日本教育医学会記念大会発表	令和5年8月22日・23日	ウインクあいち	1名
安全運転管理者講習	令和5年9月5日	八尾市文化会館	1名
多職種連携について深める	令和5年9月9日	八尾市文化会館	1名
ファシリテーション・ボール・メソッドについて知る	令和5年9月14日	藤井寺支援学校	1名
地域福祉のコーディネータースキルアップ研修(ひきこもりに対する理解と地域福祉コーディネーターができる支援とは)	令和5年10月3日	八尾市立障害者総合福祉センター (Zoomにて)	1名
利用者支援を軸とした事業の課題を考える	令和5年10月17日	八尾市立障害者総合福祉センター (Zoomにて)	1名
中堅職員研修(チームアプローチとファシリテーション)	令和5年10月19日	ゆらっとステーション	1名
全国介護事業者連盟大阪府支部セミナー	令和5年11月9日	特別養護老人ホーム称揚苑	2名
多様な主体との協働の在り方と地域アセスメント	令和5年11月17日	八尾市立障害者総合福祉センター (Zoomにて)	1名
施設連絡会研修会(多機関・多分野が協働した包括的な支援体制の構築に向けて)	令和5年11月22日	八尾市文化会館	2名
報酬改定の動向と他事業との意見交換	令和6年1月10日	大阪府社会福祉会館	1名
地域福祉のコーディネータースキルアップ研修(いま求められている地域での開発実践とは)	令和6年2月1日	大阪府社会福祉指導センター	1名
WEB研修「サポーターズカレッジ」	令和5年4月1日～令和6年3月31日	八尾市立障害者総合福祉センター (webにて)	85名

八尾市立障害者総合福祉センター／八尾市立デイサービスセンター
収支決算報告書

6. 管理運営経費の収支決算内訳

(1) 収入		決算額 (円)
介護保険事業収入		25,240,217
	介護報酬収入	22,099,141
	利用者負担金収入	1,893,937
	利用者等利用料収入	1,247,139
障害福祉サービス等事業収入		131,040,765
	自立支援給付費収入	81,965,334
	障害児施設給付費収入	28,213,170
	利用者負担金収入	661,981
	利用者等利用料収入	2,789,180
	その他の事業収入	17,411,100
運営費収入 (指定管理委託料)		172,172,115
	指定管理委託料	170,036,000
	指定管理委託料 (修繕費精算分)	1,334,414
	指定管理委託料 (光熱費精算分)	801,701
経常経費補助金収入		26,000
その他の収入		2,981,603
	受入研修費収入	96,500
	利用者等外給食費収入	544,330
	雑収入	393,273
	生産活動収入	210,000
	施設整備等収入	1,737,500
事業収入		55,000
	参加費収入	55,000
合計		331,515,700

(2) 支出		決算額 (円)
人件費		254,492,299
	職員給料	102,414,463
	職員賞与	20,509,000
	非常勤職員給料	99,021,215
	退職給付	2,609,200
	法定福利費	29,938,421
事業費		43,190,389
	賃金	216,600
	報償費	2,119,630
	需用費	31,382,551
	消耗品費	3,905,900
	燃料費	3,553,000
	給食材料費	6,718,068
	光熱水費	17,205,583
	役務費	1,384,380
	委託料	2,047,880
	賃借料	3,935,235
	備品購入費	2,104,113
事務費		33,594,070
	旅費	231,386
	需用費	4,826,292
	消耗品費	956,476
	食糧費	1,788
	修繕料	3,868,028
	役務費	3,763,918
	通信運搬費	1,628,339
	広告料	1,024,672
	手数料	1,110,907
	委託料	24,254,564
	負担金	479,110
	公課費	38,800
その他の支出		1,406,160
	その他リース料・支払利息等	1,406,160
次年度繰越金		-1,167,218
	次年度繰越金	-1,167,218
合計		331,515,700

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート
(指定管理者の管理運営業務評価結果)

施設名	八尾市立障害者総合福祉センター及び八尾市立デイサービスセンター
所在地	八尾市南本町八丁目4番5号
所管課	健康福祉部障害福祉課

指定管理者	名称 社会福祉法人虹のかけはし 代表者 理事長 辻田 純三 住所 八尾市老原4丁目93番地の1メロディーハウス103号
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

1. 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上

○利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか	評価結果
<p>施設の案内表示などは利用者に分かりやすく表示し、障がい者をはじめとした利用者が利用しやすい環境整備に取り組んでいる。行事についても、コロナ前に戻って開催している。</p> <p>ショートステイの人材不足、人員確保が課題であり、自主事業は余力がなく行っていない。</p> <p>苦情等については、適切に対応するとともに、発生後速やかに市に対して報告を行う体制をとっており、内容についても内部での情報共有を徹底し、職員への周知と啓発に努めている。</p> <p>【利用者アンケート(利用者の満足度等)】</p> <p>①調査の概要(調査対象、調査時期、調査方法、回答状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 施設の利用者又はその家族 ・調査時期 令和6年1月4日～令和6年2月29日 ・調査方法 利用者又はその家族に配布し、郵送及び回収箱により回収する。 ・回答状況 アンケート用紙406枚を配布し、222枚を回収(回収率54.7%)。 <p>②アンケート結果の概要(利用者の満足度等)</p> <p>障害者総合福祉センター及びデイサービスセンターにおけるサービスの内容については70%の利用者が満足しており、職員の対応については74%の利用者が満足している。また、90%の利用者が障害者総合福祉センター及びデイサービスセンターを引き続き利用したいと希望している。</p> <p>今後もさらなる利用者の満足度向上のため、施設独自のアンケート実施や運営協議会の開催等を通じて利用者のニーズ把握に努めていく。</p>	A

2. 公の施設の効用発揮

○公の施設の効用を最大限に発揮されたか	評価結果
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用実績は目標に届かなかったが、利用人数等を縮減しながら、安心して利用していただけるよう努めている。</p> <p>安定したサービスを提供のため、放課後デイサービスにおいて、令和5年度から重症心身障がい児のみの対象と変更、夜間の短期入所を縮小するなどして、日勤の人員を確保し運営している。</p> <p>SNS(インスタグラム)に活動状況を発信したり、民生委員を対象にポッチャ体験会を行うなど障がい者や障がいへの理解啓発をはじめ、地域との連携を図りながら適正な管理運営及びサービス提供が行われている。</p>	B

3. 適切な維持管理及び管理経費の縮減

○公の施設の適切な維持及び管理が図られるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られたか	評価結果
建物や設備機器等の維持、保守管理業務は適切に行われている。また、物価上昇の中、職員間でもコスト縮減の取組が意識づいており、モノを大事にして無駄遣いしないよう日々コスト縮減に取り組んでいる。	S

4. 団体の人員、資産その他の経営規模及び能力

○公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか	評価結果
法令等を遵守し、人員配置等の業務執行体制も適切である。また、支援方法についての研修、障がいやその特性について理解を深める研修などを実施し、職員の資質や能力向上を図っている。現場の主任クラスが1名不足しており2つのセクションを1人で担っている現状がある。放課後デイサービスにおいては、令和5年度から重症心身障がい児のみの対象と変更した。夜間の短期入所を縮小するなどして、日勤の人員を確保し、安定したサービスを提供している。また、障がい者雇用の取り組みを積極的に行っている。	S

5. その他施設の性質または目的に応じた基準

○その他市長が公の施設の性質又は目的に応じて別に定める基準を満たしたか	評価結果
施設の設置目的や条例等に沿った運営管理がなされ、個人情報保護の遵守、管理等も適切に行われている。また、KESに積極的に取り組むなど、環境に配慮した運営を行っている。	A

【総合評価】

	評価の視点	得点率(評価)(a)	評価配点(b)	評価点(a×b)
1	利用者の平等利用の確保及びサービスの向上	86.8% (A)	23.3	20.3
2	公の施設の効用発揮	75.0% (B)	20	15.0
3	適切な維持管理及び管理経費の縮減	92.1% (S)	20	18.4
4	団体の人員、資産その他の経営規模及び能力	92.3% (S)	23.3	21.5
5	その他施設の性質または目的に応じた基準	88.9% (A)	13.3	11.9
合計			100	87.1

※得点率・評価配点・評価点については、原則として、小数点第2位を四捨五入しているため、端数の関係上、評価配点の合計及び評価点の算定結果等が表上の計算と整合しない場合がある。

総合評価	A
------	---

【モニタリング内容の総括】

当該センターにおいては、利用者の満足度向上に取り組むとともに、職員の資質向上や障がい特性の理解を深める研修を実施した。

また、SNS（インスタグラム）に活動状況を発信したり、民生委員を対象にポッチャ体験会を行うなど障がい者や障がいへの理解啓発をはじめ、地域との連携を図りながら適正な管理運営及びサービス提供が行われている。

<参考>

■ 評価基準表（得点率で判断）

S（90%以上）	業務推進に必要とする水準を満たすだけでなく、より高い水準での施設の管理運営が行われ、積極的な創意工夫や改善活動を主体的に行っている
A（80%以上 90%未満）	業務推進に必要とする水準を満たしていると判断できる
B（60%以上 80%未満）	業務推進に必要とする水準を十分に満たしていないと思われる
C（60%未満）	業務推進が不十分で、今後支障をきたす可能性があり、改善の検討が必要と思われる

■ 「総合評価」の評価基準

評価の視点ごとの得点率及び評価配点をもとに評価点を算出し、上記の評価基準表により評価を行う。

ただし、総合評価がSまたはAとなるためには、評価基準表に定める得点率の基準（S：90%以上、A：80%以上）を満たした上で、以下の要件も満たす必要がある。

総合評価がSとなる要件

5つの評価の視点の評価において、Sが3つ以上であること。

総合評価がAとなる要件

5つの評価の視点の評価において、SまたはAが3つ以上であり、かつ、Cがないこと。